

部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方(令和6年度第2回)

番号	意見	当日の回答	区役所の対応・考え方	担当課
福祉部会				
1	令和7年度港区運営方針(案)経営課題3の評価指標である「区内各地域に配置している見守りコーディネーターへの合計相談実人数を年7,000件以上」というのは、広報みなどの報告の際に提出するコーディネーターへの相談件数なのか、それ以外も含めての件数なのか。また、この7,000件という数字は現状の目標と比べてどうなのか。	こちらの事業は、港区社会福祉協議会に委託事業として依頼しております。その中で各地域の月々の実績を「相談支援の実人数」として報告していただいておりますので、それを合計した件数としています。また、令和5年度の相談支援の実人数が5,450件となりますので、やや高め目標になると考えています。 なお、お困りごとを抱えた方が相談に来られますので、相談件数が多ければ良いという訳ではありませんが、地域に見守りコーディネーターが配置され、気軽に相談できる場所があるということの周知、啓発に努めたいと考えています。(西川委員談)	同左	保健福祉課
2	回答率の低い区民モニターアンケートの結果を経営課題の評価基準とすることについて、昨年はアンケートの回答率は低いが一定数の回答があるため、評価基準として利用できるとの回答であった。今回、評価基準から区民モニターアンケートの結果を除外したのはなぜなのか。	昨年は、区民モニターアンケートの結果が評価基準を一定満たしていると回答させていただきましたが、区民モニターアンケートの回収率が全市的に年々減少傾向にある中で、果たして区民全体の意見、考え方を反映できているのかということを区内で議論させていただきました。外部の方からも同様のご指摘があり、見直した方が良いのではないかと結論にいたり、令和7年度運営方針より見直して提案をさせていただきました。	同左	総務課
3	令和7年度港区運営方針(案)経営課題3の課題認識にある「児童虐待の未然防止・早期発見」について、歯科医の立場で見ると、ネグレクトによる口腔崩壊が起きている児童が一定数おり、増加傾向にある。全国の虫歯調査では虫歯がある児童は減ってきており、12歳で1本以下となっていて、学校の歯科検診に来ている人は大丈夫だが、不登校等で把握できない子どもの口腔崩壊をどう防ぐか、把握していくかが課題だと思う。	乳幼児健診の際にも虫歯が多い子どもが見受けられます。令和6年4月から母子保健と児童福祉が一体となったこども家庭センターを設置し、子育て世帯の支援を強化する取り組みを進めていますので、その中で対応していくことで考えています。	同左	保健福祉課
4	広報の関係ですが、いろいろな福祉や子育ての情報・チラシ等がありますが、やはり子育て世代の方はスマートフォンで検索して情報を探すことが多いと思うので、港区や港区近辺のお出かけ検索サイトの様なものがあれば、より良い情報発信ができると思うが、その様なものを検討しているか。	ご意見のとおり、子育て世代はインターネットで検索して情報を探すということは把握していますので、検索サイト等の実現可能性について考えていきます。	同左	
5	国民健康保険の資格証の件で、令和6年12月2日以降は、資格証の再交付、あるいは新規発行の場合、マイナ保険証をお持ちの場合は「資格情報のお知らせ(特別療養)」を、お持ちでない場合は「資格確認証(特別療養)」を発行することになるとあるが、こちらの見本を医師会等に提供していただけないか。	見本はありますので、関係局に確認後、部会委員の皆さまに情報提供させていただきます。	同左	窓口サービス課
6	地域の情報を地図で分かりやすくするなど、非常に質の高いチラシ等を作成していただいております。区役所に行けばこの情報は手に入ると思うが、ネットでアクセスしない方や区役所に行けない方がこの情報を手にしていただく機会をいかにして増やしていくかが課題だと思う。	区内の広報板への掲示や広報紙での全戸配布により周知をしていますが、より目にしていただく機会を増やすために、広報の手段を工夫しながら周知を図っていきたく考えています。また、子育てに関する情報については、乳幼児健診の際に配布していますが、検診に来ない家庭対しては、子育て支援室が個別に連絡し、訪問した際に情報提供を行っています。	同左	
7	「民生委員・児童委員・主任児童委員」の他にこども家庭支援員として活動しており、子育てに困難を抱える家庭と関わっていたが、令和6年3月を以ってこども家庭支援員の制度が終了した。こども家庭支援員と同じく「民生委員・児童委員・主任児童委員」にも守秘義務があるので、そちらも活用していただけたらと思う。	こども家庭支援員の制度は終了しましたが、今後とも子育て支援室と「民生委員・児童委員・主任児童委員」の皆様と個別に連携して対応していけたらと考えています。	同左	保健福祉課
8	以前は主任児童委員として個別ケース会議に参加していたが、こどもサポートネット事業が導入されたことによって、主任児童委員が個別ケース会議に参加することがなくなった。学校とこどもサポートネット推進員の間でケース会議が終わってしまっており、主任児童委員が信頼されていないのか非常に残念に感じている。	ご意見ありがとうございます。課内で検討したいと思います。	同左	